

# 北野高校の概要～チャレンジする北野

**北野高校の校風**

- 授業第一主義
- 文武両道
- 六稜魂
- 良き伝統
- アカデミックな雰囲気
- 実績の積み重ね

**北野高校の教育方針**

- バランスのとれた豊かな人間性
- 学力だけでなく心身のたくましさも

体、徳、知のバランスを重視するギアモデル。

### アドミッション・ポリシー（求める生徒像）

本校は、アカデミックで自由闊達な校風のもと、文武両道の実践を大切にしてきました。そのなかで、知・徳・体のバランスがとれ、豊かな人間性と心身のたくましさを持った生徒を育てることをめざしています。これは創立より150年にわたる歴史のなかで培われ、これまで数多くの優れた人材を輩出してきた本校の教育理念です。この理念を理解し、高い志とチャレンジ精神によって自らの進路を切り開き、高邁な理想をもって社会に貢献する生徒を望みます。

- 1) 授業を中心としたあらゆる教育活動に真摯に取り組み、互いに切磋琢磨していきける生徒
- 2) グローバル化が急速に進むなかで、社会の課題に関心を持ち、国際社会のリーダーとしてふさわしい次のような能力や態度を身につける意欲のある生徒
  - ・多角的な視点を持ち、ものごとを洞察する力
  - ・主体的に課題を解決しようとする態度
  - ・コミュニケーション能力
  - ・自己を確立するとともに、互いの違いを認め合い尊重しようとする態度
- 3) 自然科学及び人文・社会科学における基本的な知識や技能について、系統的に習得し、理解を深め、また、論理的思考力を鍛えることによって、科学的に考察し表現する能力や態度を身につける意欲のある生徒

### 参考～本校の入学者選抜

令和6年度以降の入試の詳細は未定ですが、近年の入学者選抜は、

- ◆ 5教科の入試得点を630点
- ◆ 全教科の調査書評定を270点で換算合計した900点満点の総合点で、合否を決定しています。

上記に加え、自己申告書や調査書を参考としながら、本校のアドミッション・ポリシーに基づく選抜を行うこともあります。

### □授業第一主義

- ・50分×6ではなく65分×5 →1日に25分多い
- ・65分授業のメリットを生かした探究的・主体的な学び
- ・高大連携や各界で活躍する卒業生とのコミュニケーションによって、アカデミックで自由闊達な校風を醸成

### □文武両道

- ・文化的、体育的を問わず多彩な行事に全力で取り組む姿勢
- ・8:10始業(夏時間の場合)により、放課後の時間を確保
- ・ほぼ全生徒の参加する部活動

### □六稜魂

- ・やるべきことをやり抜く忍耐力
- ・何事にもチャレンジする精神力や決断力

## 「知の育成」

本校ではすべての授業、定期考査、課外活動の中で思考力・表現力の育成を意識し、主体的・探究的な学びを追求しています。つまり、北野生は教えられたことを覚えるのではなく、「学び方」を学ぶ態度を身につけています。

新しい学力観を先取りしてきた北野高校は、大学入試改革にも動じることはありません。

そして、「知の育成」は「徳の育成」「体の育成」と三位一体の存在です。

## 「徳の育成」

下記のような活動を通して主体的かつ探究的な学びを深めています。

- ☆国社数理英以外の授業も重視
- ☆卒業生を含む多彩な講師陣がサポート
  - ・1年生向け「知的世界への冒険」
  - ・2年生向け「学部学科ガイダンス」 など
- ☆六稜祭(文化祭Ⅰ) →演劇・演奏・縁日など
- ☆文化芸術祭(文化祭Ⅱ)
  - ・北野生のみによる「レ=ミゼラブル」上演
  - ・音楽クラスの合唱コンクール
  - ・美術・書道・家庭科の作品展示(優秀作表彰)
- ☆スタートアップ研修(1年生の4月または5月)
  - ・学年の連帯感を高め、前向き志向へ
  - ・卒業生(大学生)との対話
  - ・校内・校外でチームビルディング研修
- ☆修学旅行(例年は2年生の夏)
  - ・北海道方面が多い
  - ・生徒自身も旅程作成に関わります



## 「体の育成」

北野高校では体力・精神力の育成も大切にしています。時には個々で、時には仲間とともに、目標に向かって頑張り抜くエネルギーを生み出していく取り組みです。体育の授業でも、球技やダンスの種目のほか、縄跳び、水泳、長距離走などの課題を設定し、粘り強く取り組む姿勢を求めています。このような姿勢は、学習習慣の基礎でもあります。

体育行事は、大きなものが年に4回あります。5月のクラス対抗球技大会、9月の水泳大会に続いて10月に実施する体育大会はイベントと言うよりも、競技会に近い雰囲気です。この時実施される2年生の仮装は、北野名物の1つです。2月には淀川河川敷で断郊競走を行います。1935年に始まった伝統行事です。卒業生の漫画家、手塚治虫さんの作品の中にも断郊のことが登場しています。

